



IXIL ラシッサ 可動間仕切り 引戸上吊方式 コーナタイプ 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲警告



下記機器をお使いの方は操作をしないでください。
医療機器誤作動のおそれがあります。
(1) 体内埋込型機器
(2) 生命維持用機器
(3) 装着型心電計等

▲注意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	吊車を枠組立て時にレールに正しい向きで入れましたか？	<input type="checkbox"/>
2	枠取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか？	<input type="checkbox"/>
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？	<input type="checkbox"/>



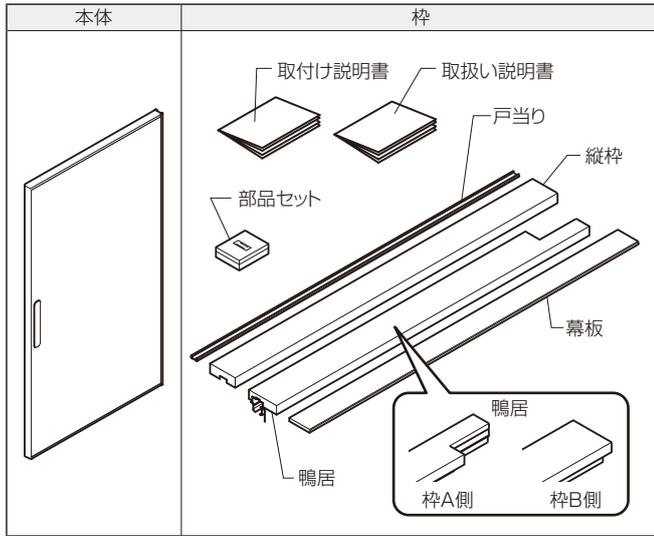
保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光があたる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



■本体 (1枚梱包)

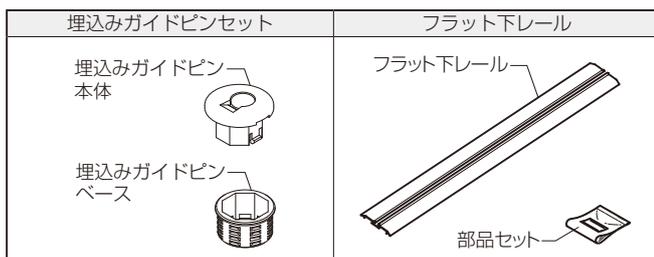
枠仕様	1×2	1×3	2×2	2×3	3×3
枚数	3	4	4	5	6

■枠

	1枚側		2枚側		3枚側	
	A	B	A	B	A	B
鴨居	1		1		1	
縦枠	1		1		1	
幕板	1		1		1	
戸当り	1		2		3	
部品セット	1		1		1	
取付け説明書	1	—	1	—	1	—
取扱い説明書	1	—	1	—	1	—

枠A梱包(室内側からみて右側)

枠B梱包(室内側からみて左側)



■埋込みガイドピンセット

枠仕様	1×2	1×3	2×2	2×3	3×3
2個入	2	1	—	—	—
10個入	1	2	2	1	—
18個入	—	—	—	1	2

■フラット下レール (別売品)

枠仕様	1枚側		2枚側		3枚側	
	A	B	A	B	A	B
	1	1	1	1	1	1

■召合せパッキン (別売品)

枠仕様	1×2	1×3	2×2	2×3	3×3
	1	1	1	1	1

■開口部の作り方

開口施工上のお願い

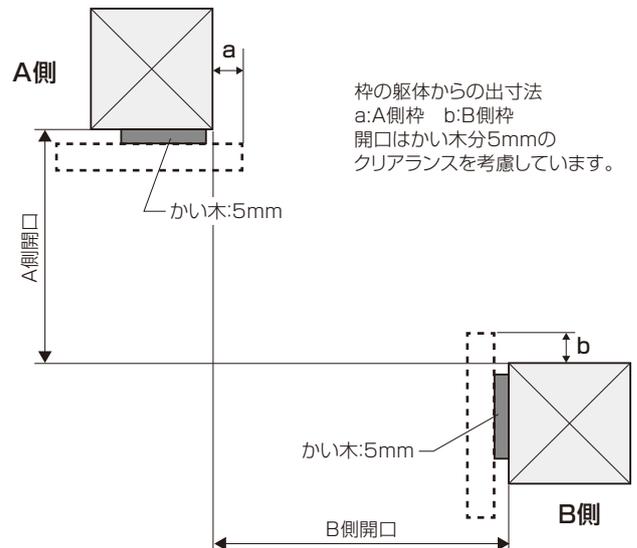
- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下りとなるので、本体40kg/枚の強度を確保してください。
- 小壁は枠を取付けてから施工してください。
- 枠は、床先張り専用商品のため、取付け前に床を張ってください。
- 開口部水平垂直を正しく出してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

同梱のねじを使用しないと開閉不良になります。
軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

①開口寸法を以下で水平垂直にして製作してください。

- ・H開口：製品H+5mm
- ・W方向は以下参照ください。



■A側開口寸法

(単位: mm)

B側	A側開口					
	1枚	a	2枚	a	3枚	a
1枚			WA-76.5	25	WA-76.5	23
2枚	WA-97	25	WA-97	25	WA-97	23
3枚	WA-130.5	25	WA-132.5	25	WA-132.5	23

■B側開口寸法

(単位: mm)

A側	B側開口					
	1枚	b	2枚	b	3枚	b
1枚			WB-76.5	25	WB-76.5	23
2枚	WB-97	25	WB-97	25	WB-97	23
3枚	WB-130.5	25	WB-132.5	25	WB-132.5	23

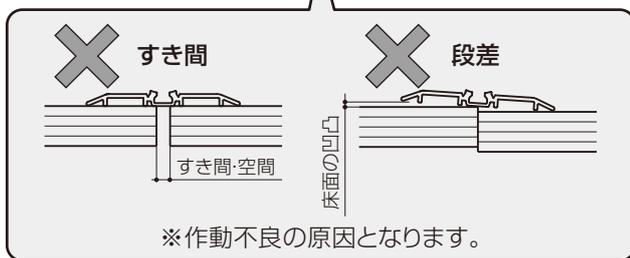
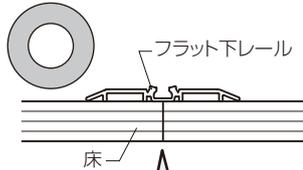
2 床の張り方

開口施工上のお願い

- 埋込ガイドピン仕様は開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)

■フラットレール／埋込ガイドピン

- ①床材は段差なく、すき間なく張ってください。



3 枠用部品セット

枠用部品セット	片引戸	片引戸 2枚建 引分け	片引戸 3枚建	
枠組立て用 皿小ねじM4×50		4本	4本	4本
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		12本	18本	31本
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50		6本	6本	6本
吊車A (ソフトモーション付)		1個	2個	3個
吊車B		1個	2個	3個
受け金具		2個	4個	6個
ガイドピン		1個	—	—
	使用しません			
ガイドピン取付け用 TPねじφ3.5×20		2個	—	—

※A側枠、B側枠それぞれ部品セットが必要です。

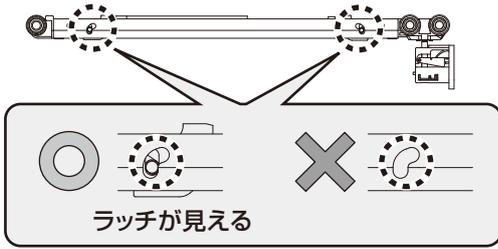
4 枠の組立て(吊車の挿入)

枠組立て上のお願ひ

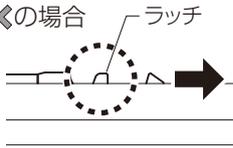
- 施工は、製品脱落・枠の垂下がり・ゆがみとなるので同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるので、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- ソフトモーション付き吊車は作動不良になるので、正しい向きに入れてください。

① 鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してください。

● 吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



※ Xの場合



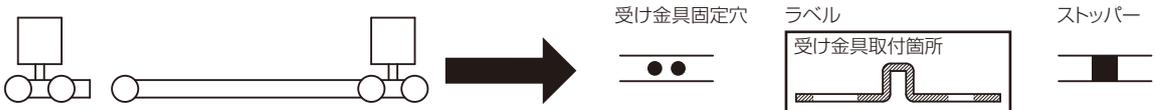
ラッチを引っ張り
正常位置へ戻す。

ソフトモーション仕様 吊車

鴨居

※図は枠A側(1枚引き)

● ソフトモーション仕様 吊車挿入向き



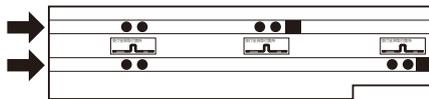
枠A側(切欠きあり)

枠B側(切欠きなし)

1枚引き



2枚引き



3枚引き

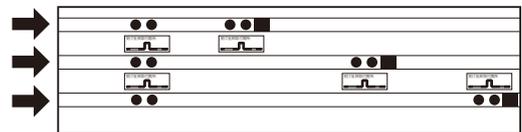
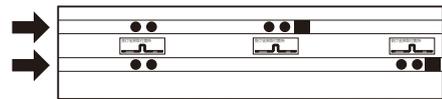
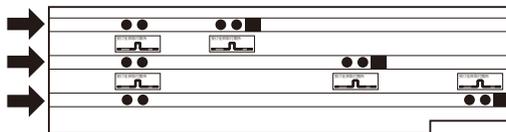


図-1 枠の組立て(A側)

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。
※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。

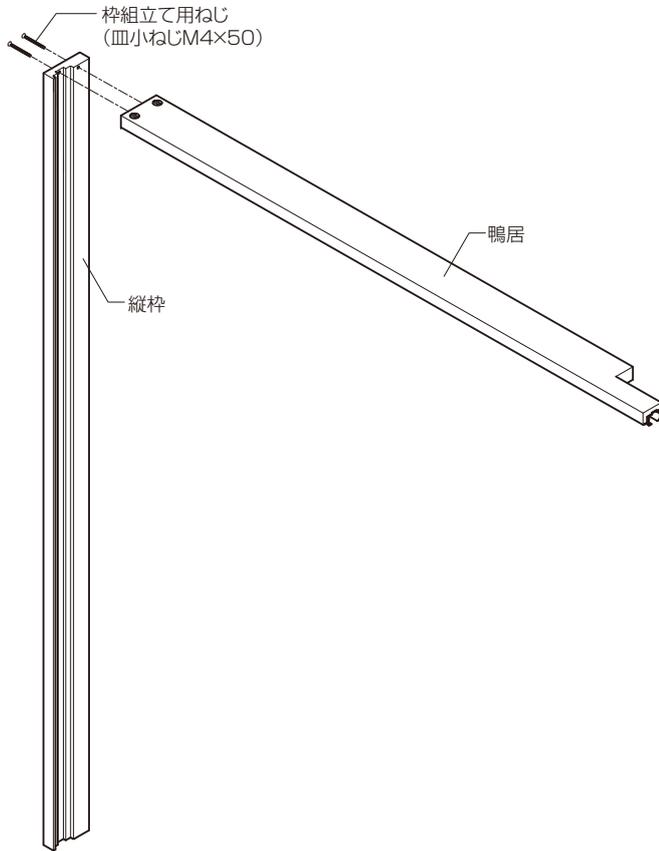
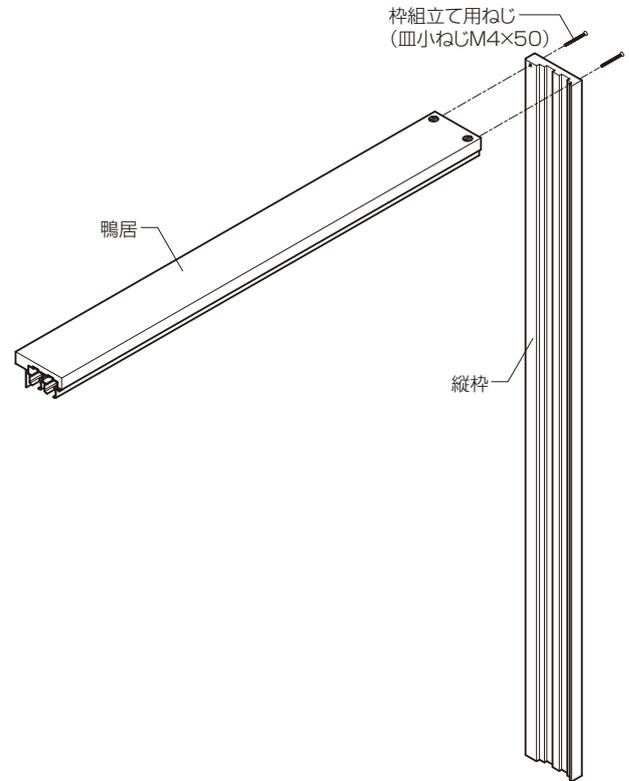


図-2 枠の組立て(B側)

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。
※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。



6 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 製品脱落・開閉不良になるので、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
- 枠と躯体の間に、かい木を表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- 本体作動不良になるので、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- 枠固定時、ソフトモーションを機能させるため、吊車は受け金具の中間に入れてください。
- 受け金具は緩み防止のため、鴨居固定後に固定してください。

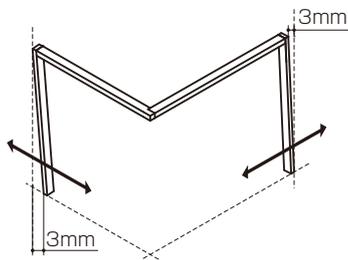
(※)現場手配

- ①必ず仮固定して枠Aと枠Bの接合部が垂直になるようにしてください。
- ②枠と躯体の間にかい木を入れて縦枠、鴨居を指定のねじで固定してください。受け金具は、中央に吊車を入れて必ず最後に固定してください。

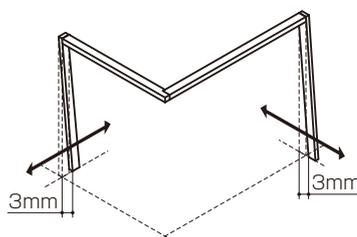
●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

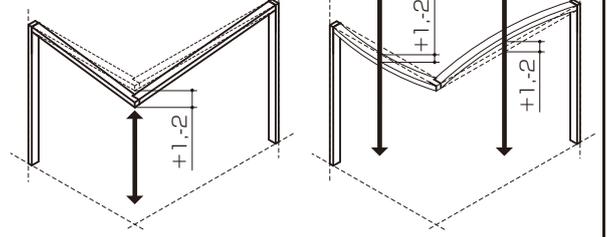
●横方向の倒れ



●奥行き方向のねじれ

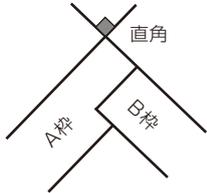


●枠のタイコ・ツツミ

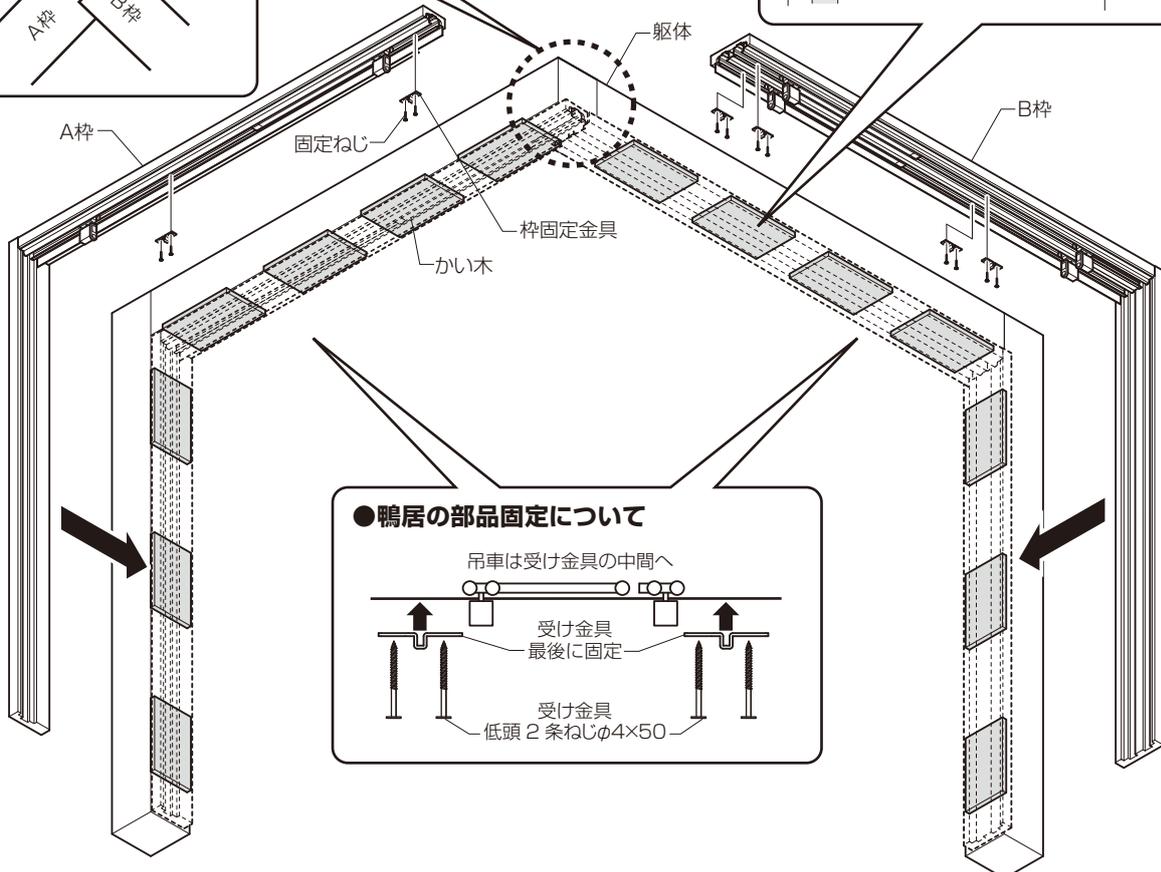


●枠Aと枠Bの接続部

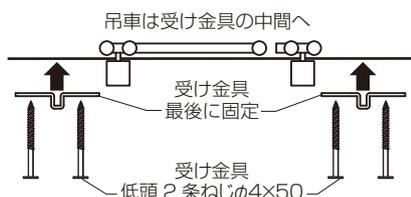
枠A、枠Bの鴨居を垂直に施工



●かい木について



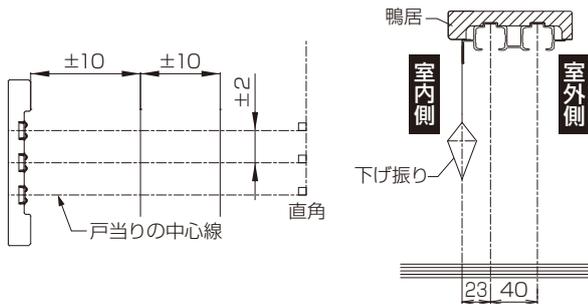
●鴨居の部品固定について



7-1 床部の施工(埋込みガイドピン)

埋め込みガイドピン施工上のお願い

- 開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
- 開閉時に本体がガイドピンから外れるので、()内の施工精度守ってください。(開閉方向: ±10mm以下、面方向: ±2mm以下)
- 作動不良となるので、鴨居中心から垂直、A、B枠の交差を直角に墨出しください。



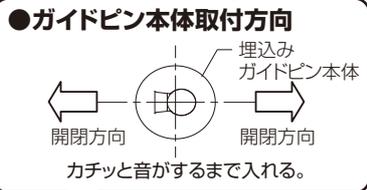
- 開閉不良となるので、ガイドピン用の加工穴は垂直にして、バリ、切粉を取除いてください。
- ガイドピンベースの取付けは、破損するので直接たたかず、必ずあて木をしてください。

埋込みガイドピンセット明細

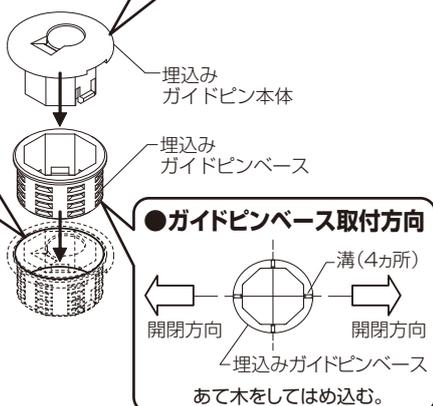
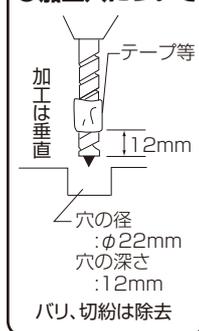


※数量はP.2を参照ください。

- ①埋め込みガイドピン配置図を参考に床に穴あけの位置だしをしてください。
 - ②φ22mm深さ12mmの穴をあけてください。
 - ③加工穴にガイドピンベースの溝を開閉方向に合わせてはめ込んでください。
 - ④ガイドピン本体を下図の向きにカチッと音がするまで入れてください。
- ※本体の吊込み後位置調整を行います。



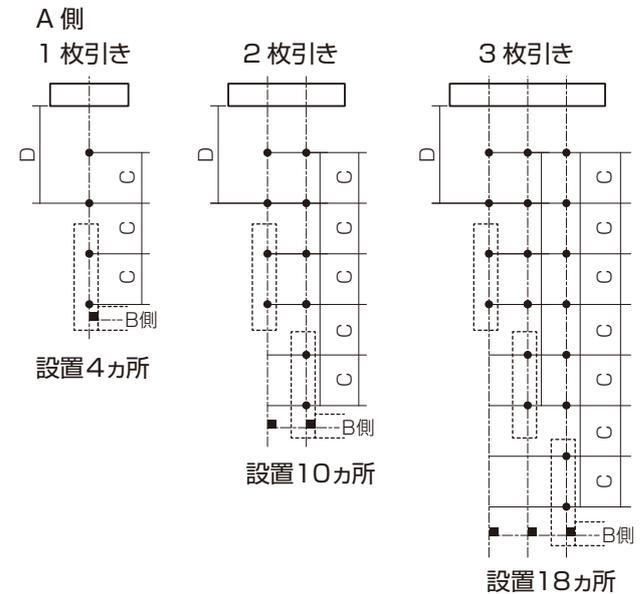
加工穴について



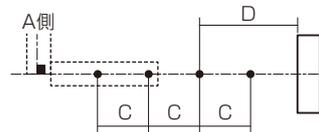
7-2 埋込みガイドピン施工位置

名称		C		D		DW
A 枠 B 枠 共通	1 枚引き	(DW + 94)/3	303	DW - 79	737	816
	2 枚引き	(DW + 94)/3	303	DW - 79	737	816
	3 枚引き	(2DW + 66)/5	339	DW - 79	737	816

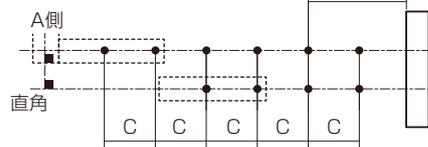
埋込みガイドピン配置図



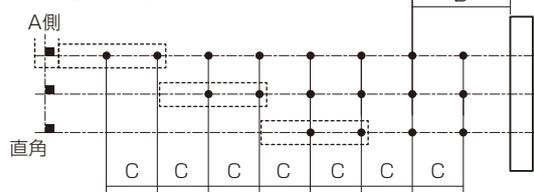
B 側 1 枚引き 設置4カ所



2 枚引き 設置10カ所



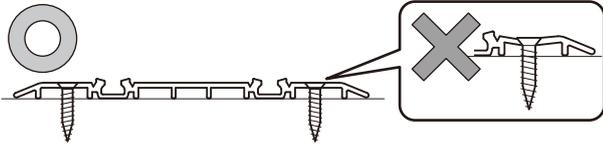
3 枚引き 設置18カ所



7-3 床部の施工(フラットレール)

フラットレール施工上のお願い

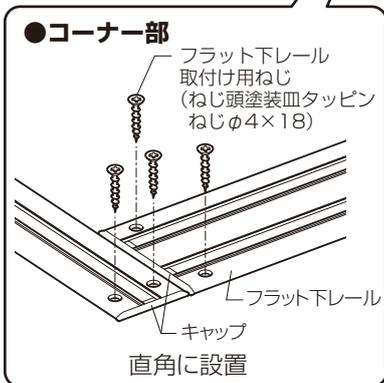
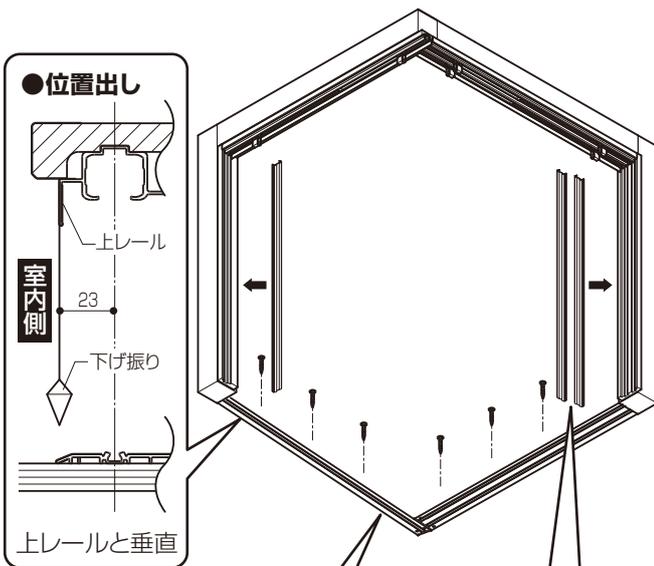
- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



- ①上レールと垂直にフラットレールの位置出しをしてください。
- ②キャップ側をコーナー側にしてA側、B側の下レールを互いに垂直に設置してねじで固定してください。
- ③戸当たりの長さを合わせてカットし、接着剤(現場手配)を塗布して枠に取付けてください。

■フラット下レール用部品セット

		A側枠、B側枠共通		
		1本引き	2本引き	3本引き
フラット下レール取付け用 頭塗装皿タッピンねじφ4×18		16本	22本	28本

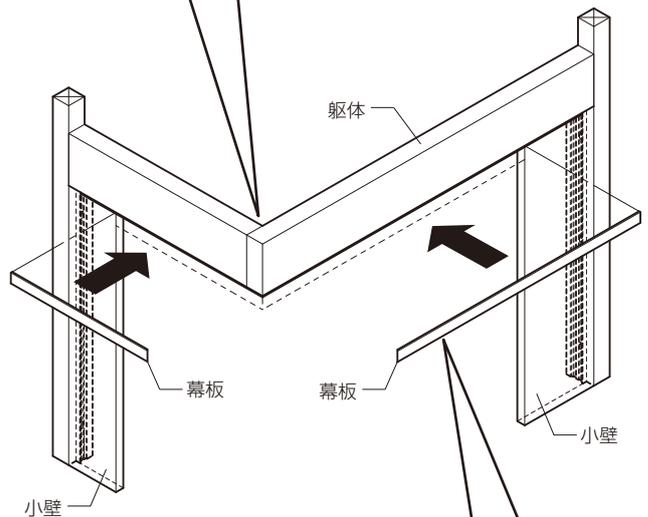
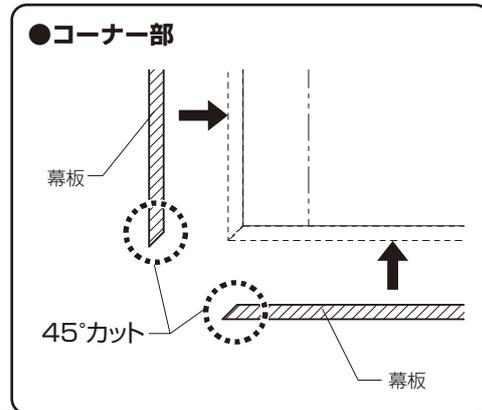


8 幕板の取付け

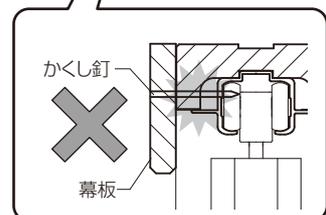
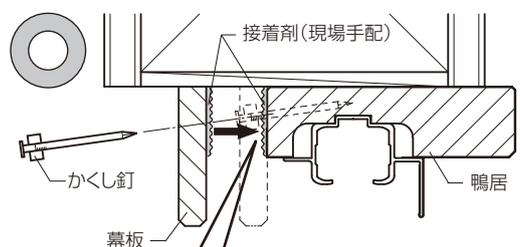
※幕板取付け前に必ず小壁を仕上げてください。

- ①幕板を現場寸法に合わせて上下方向に注意してコーナー側を45°カットしてください。
- ②幕板を鴨居に接着剤(現場手配)を塗布してかくし釘で固定してください。

※作動不良になるので、上レールにかくし釘等を打込まないようにしてください。



●幕板の固定

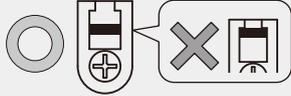


9-1 本体の吊り込み(埋込みガイドピン仕様)

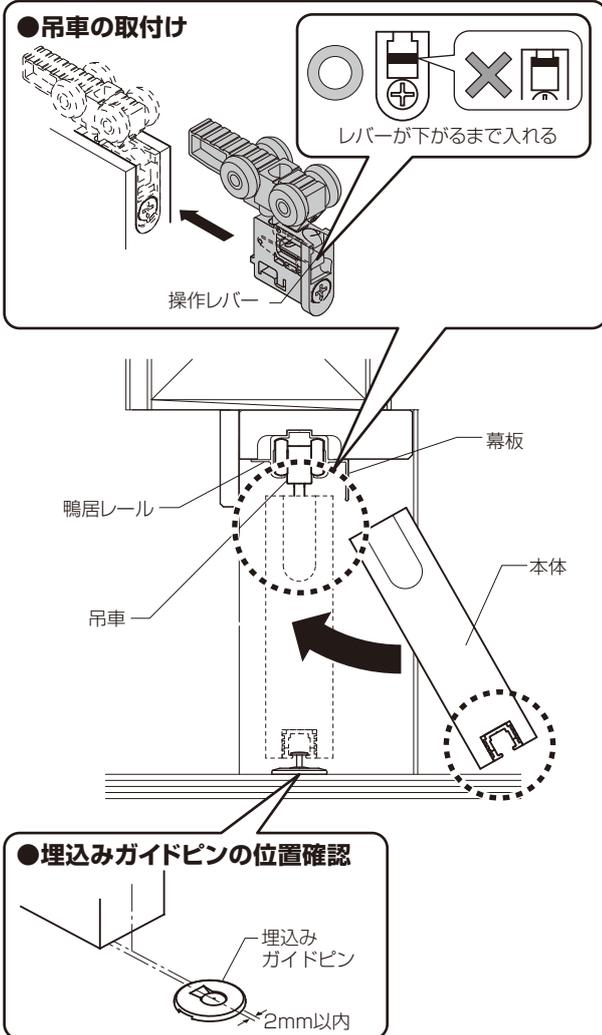
▲注意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



- ①本体に吊車を最後まで入れ込んでください。
 - ②埋込みガイドピンが本体中心から±2mm以内か確認してください。
- 範囲を超えている場合は調整が必要です。(P11参照)

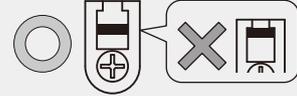


9-2 本体の吊り込み(フラットレール)

▲注意

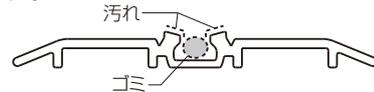


●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。

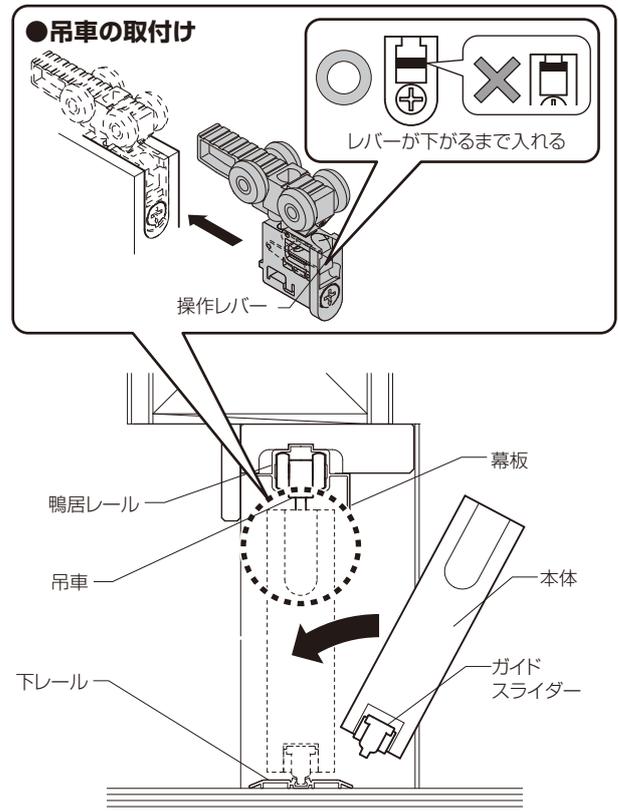


本体吊り込み上のお願

- 開閉不具合になるのでレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



- ①下レールにはめてから、本体に吊車を最後まで入れ込んでください。



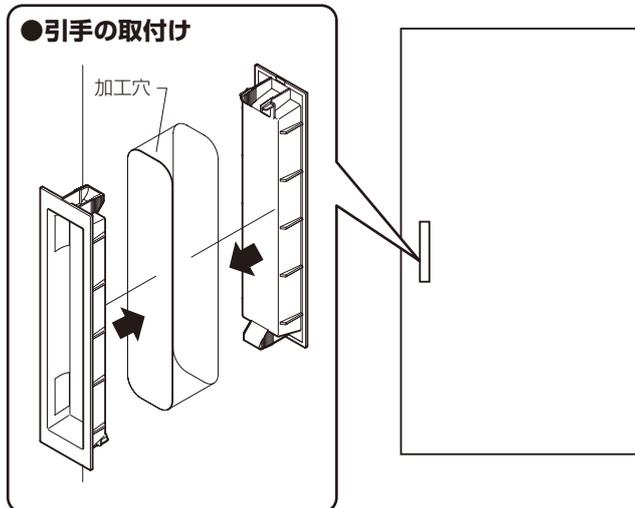
④本体への部品付け(吊り込み後)

■引手の取付け

- ①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売り)

名称	入数
引手	2個



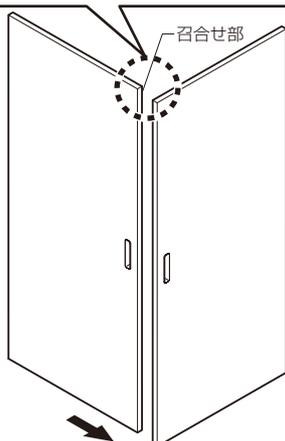
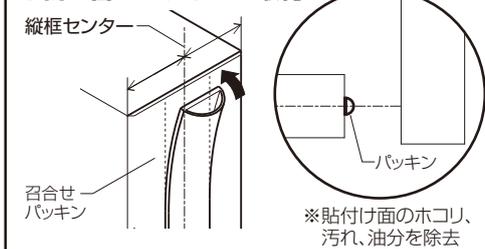
■召し合せパッキンの取付け

- ①必ず本体建付け調整後に作業してください。
- ②貼付け面のホコリ、汚れ、油分を削除してください。
- ③パッキン裏面のシートをはがし、下図のように約5kg程度の力で貼付けてください。
- ④パッキンは長めなので、現場でカットしてください。

■召し合せパッキンセット(別売り)

名称	入数
召し合せパッキン	2本

●召し合せパッキンの取付け



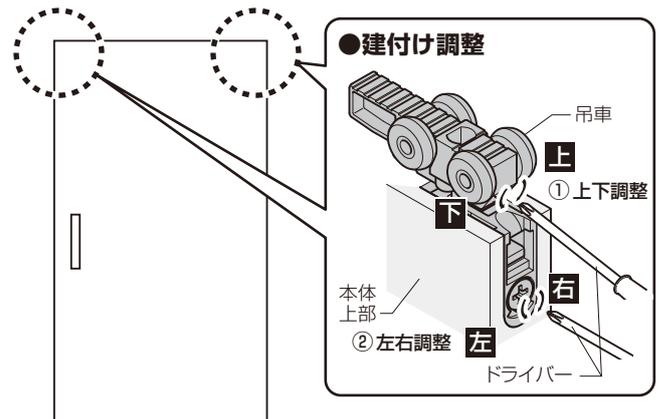
④本体側の調整について

本体調整上のお願

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部のはずれ、引戸下部のこすれ)

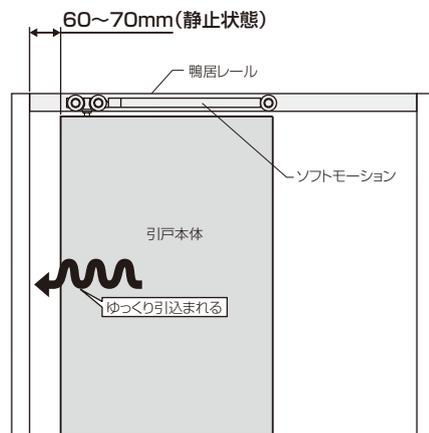
●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



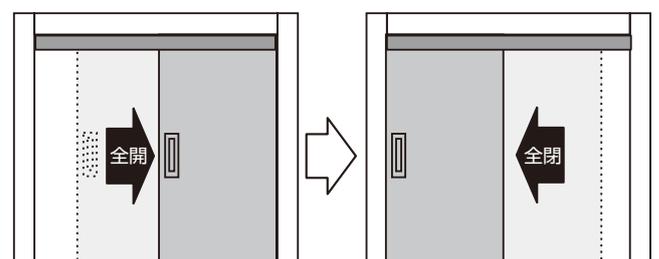
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60~70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



扉枠側の調整について

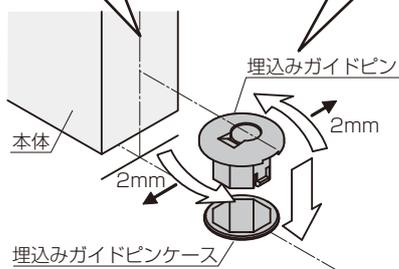
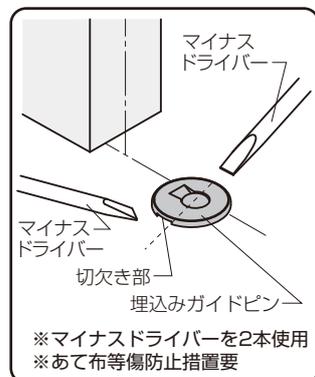
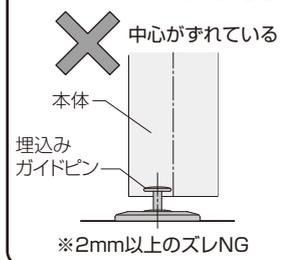
埋め込みガイドピン調整時のお願い

- 床が損傷するので、作業前にあて布等の損傷防止措置を行ってください。
- ガイドピンが破損するので、必ずマイナスドライバー2本で外してください。
- 開閉時ガイドピンから本体が外れるので、本体中心からズレは±2mm以内に調整してください。
- 作動不良になるので、ガイドピン本体内のゴミは必ず取除いてください。

●埋込みガイドピンの調整(調整幅4mm)

- ①ガイドピンにある切欠きにそれぞれマイナスドライバーを入れて外してください。
- ②本体を静止させて、ガイドピンを回して本体とのズレを2mm以下にしてください。
- ③調整が完了したら、カチッと音がするまでガイドピンを最後まで入れてください。

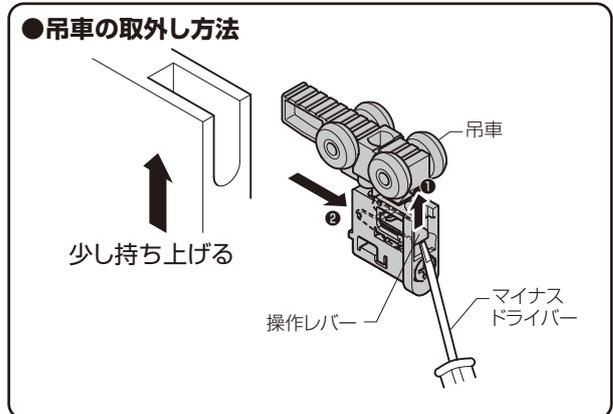
●ガイドピンの許容範囲



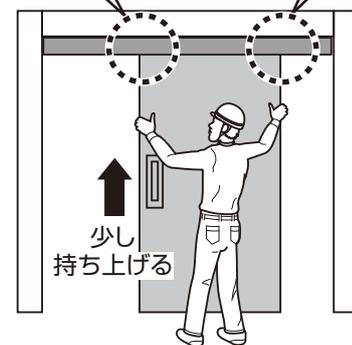
扉本体・引手の取外し方法

●本体の取外し方法

- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重をかからないようにしてください。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜いてください。

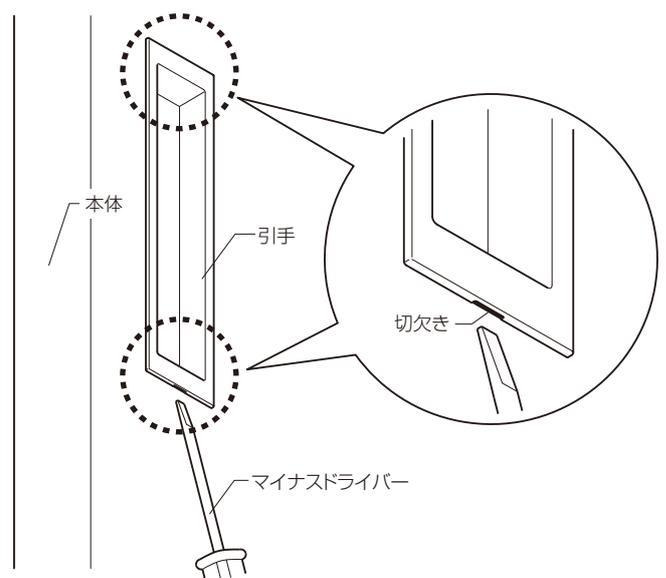


●吊車の取外し方法



●引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切欠きに入れて外してください。



④困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

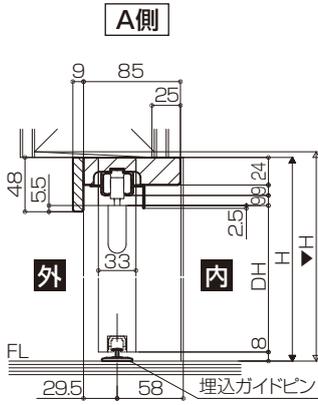
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



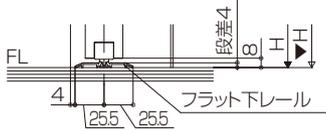
■納まり図

■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ 1×2枚(2×1枚)、1×3枚(3×1枚)

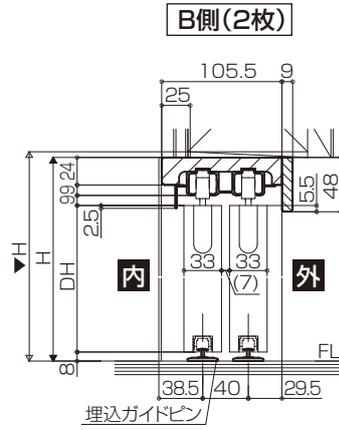
●縦断面図



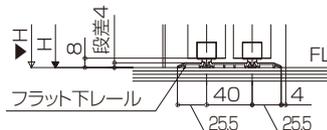
・埋込ガイドピン使用



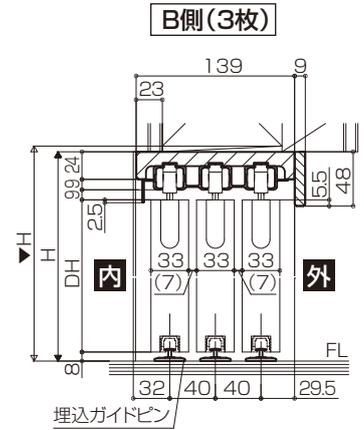
・フラット下レール使用



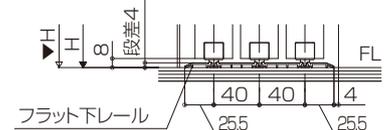
・埋込ガイドピン使用



・フラット下レール使用



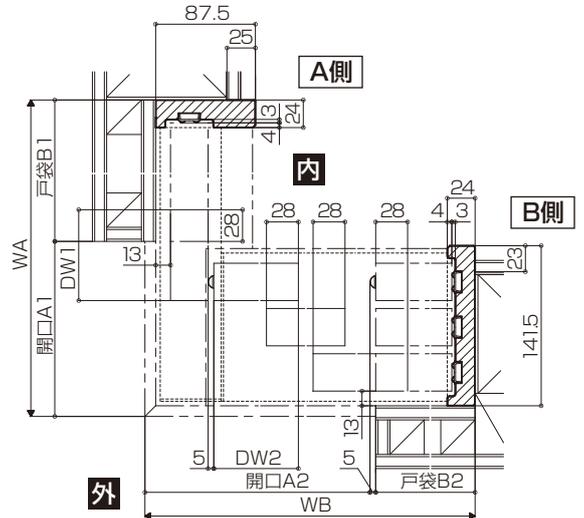
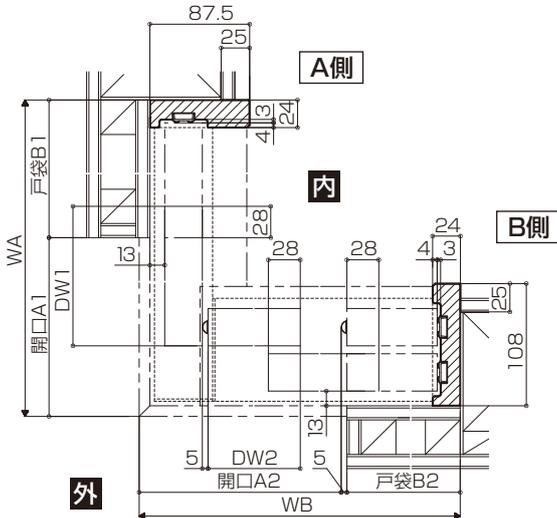
・埋込ガイドピン使用



・フラット下レール使用

※A側が2枚、B側が1枚の呼称2×1枚、およびA側が3枚、B側が1枚の呼称3×1枚は本図と対称とします。

●横断面図



部材名称	1枚側		2枚側		3枚側	
	形材番号	枠幅寸法	形材番号	枠幅寸法	形材番号	枠幅寸法
縦枠	7630	87.5	7654	108	7668	141.5
鴨居	7847	85	7848	105.5	7849	139
幕板	7570	48	7570	48	7570	48
フラット下レール	7484	51	7485	91	7486	131

W呼称	枠外寸法(mm)		戸袋寸法(mm)	
	WA寸法	WB寸法	B1寸法	B2寸法
1×2枚	1686	2472	836	836
1×3枚	1726	3260	836	836
2×1枚	2472	1686	836	836
3×1枚	3260	1726	836	836

算出式1×2枚(2×1枚) :

$$\begin{aligned} DW1 &= (WA - 54) / 2 \\ DW2 &= (WB - 24) / 3 \\ A1 &= WA - B1 \\ A2 &= WB - B2 - 5 \\ B1 &= DW + 20 \\ B2 &= DW + 20 \end{aligned}$$

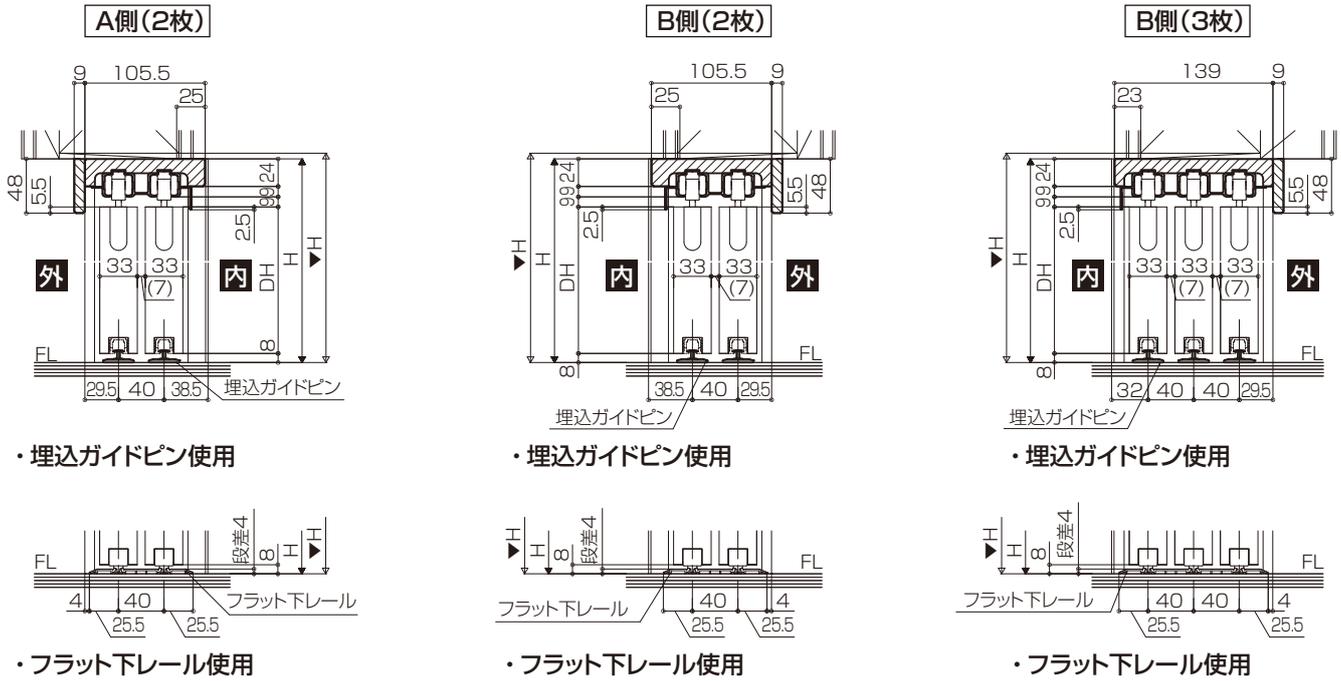
算出式1×3枚(3×1枚) :

$$\begin{aligned} DW1 &= (WA - 94) / 2 \\ DW2 &= (WB + 4) / 4 \\ A1 &= WA - B1 \\ A2 &= WB - B2 - 5 \\ B1 &= DW + 20 \\ B2 &= DW + 20 \end{aligned}$$

※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ 本体(DW816)を使用した場合の寸法です。

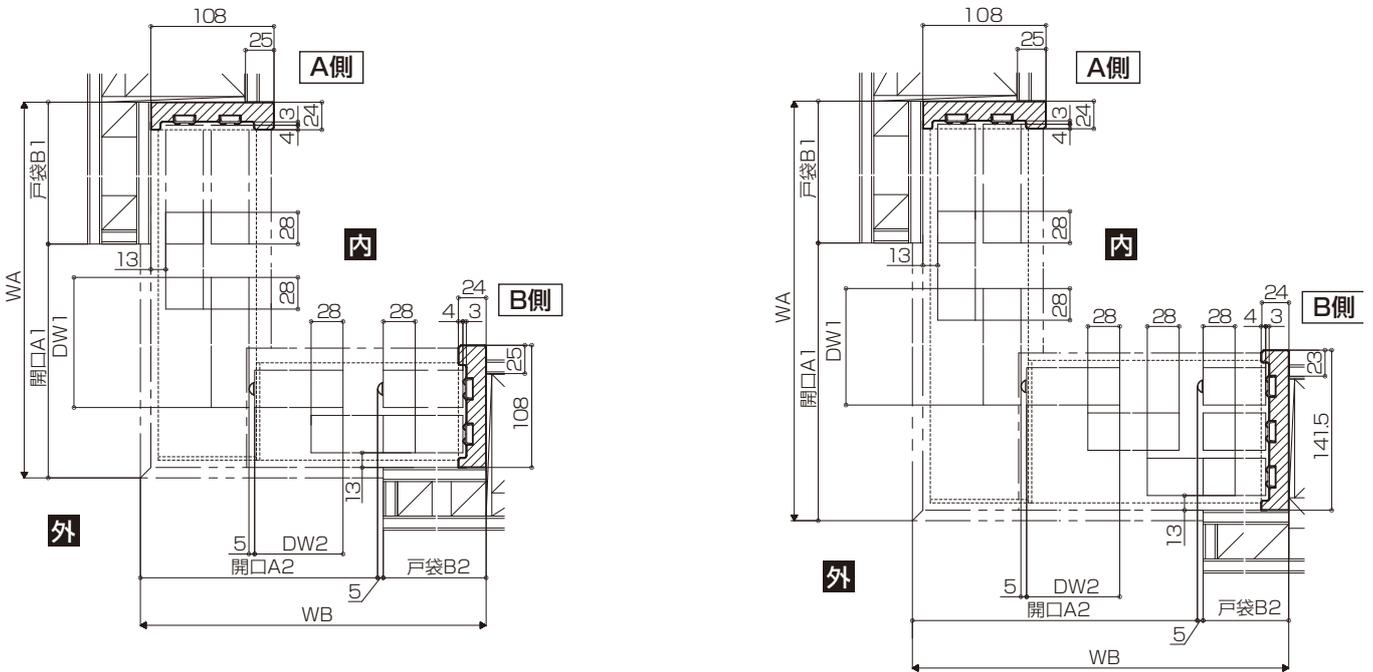
■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ 2×2枚、2×3枚(3×2枚)

●縦断面図



※A側が3枚、B側が2枚の呼称3×2枚は本図と対称とします。

●横断面図



部材名称	2枚側		3枚側	
	形材番号	枠幅寸法	形材番号	枠幅寸法
縦枠	7654	108	7668	141.5
鴨居	7848	105.5	7849	139
幕板	7570	48	7570	48
フラット下レール	7485	91	7486	131

W呼称	枠外寸法(mm)		戸袋寸法(mm)	
	WA寸法	WB寸法	B1寸法	B2寸法
2×2枚	2474	2512	836	836
2×3枚	2514	3300	836	836
3×2枚	3300	2514	836	836

算出式 2×2枚：

$$\begin{aligned} DW1 &= (WA - 26) / 3 \\ DW2 &= (WB - 64) / 3 \\ A1 &= WA - B1 \\ A2 &= WB - B2 - 5 \\ B1 &= DW + 20 \\ B2 &= DW + 20 \end{aligned}$$

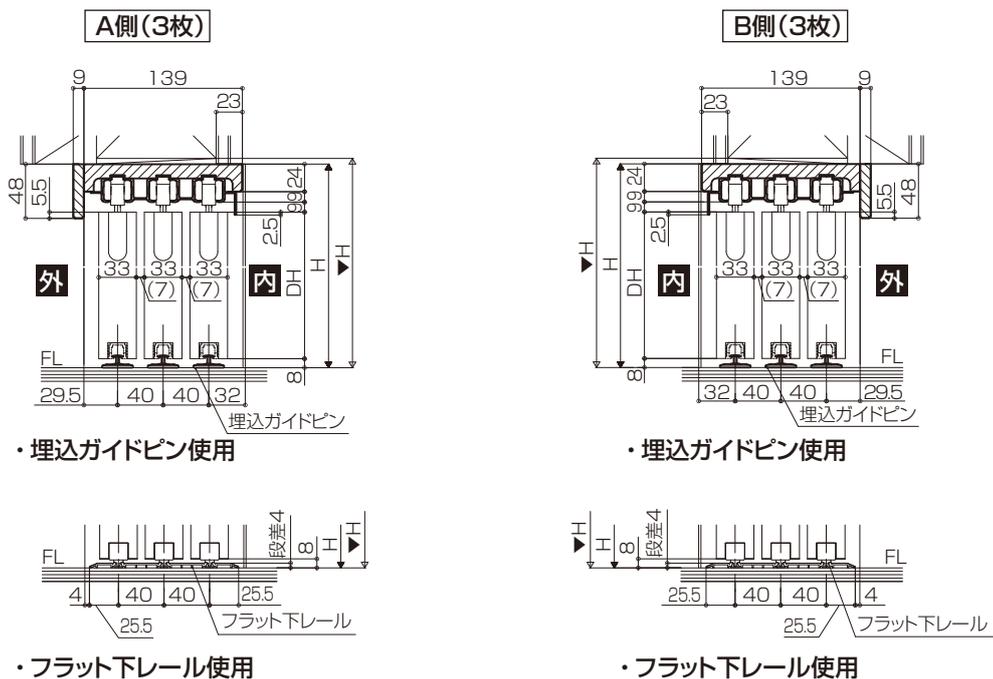
算出式 2×3枚(3×2枚)：

$$\begin{aligned} DW1 &= (WA - 66) / 3 \\ DW2 &= (WB - 36) / 4 \\ A1 &= WA - B1 \\ A2 &= WB - B2 - 5 \\ B1 &= DW + 20 \\ B2 &= DW + 20 \end{aligned}$$

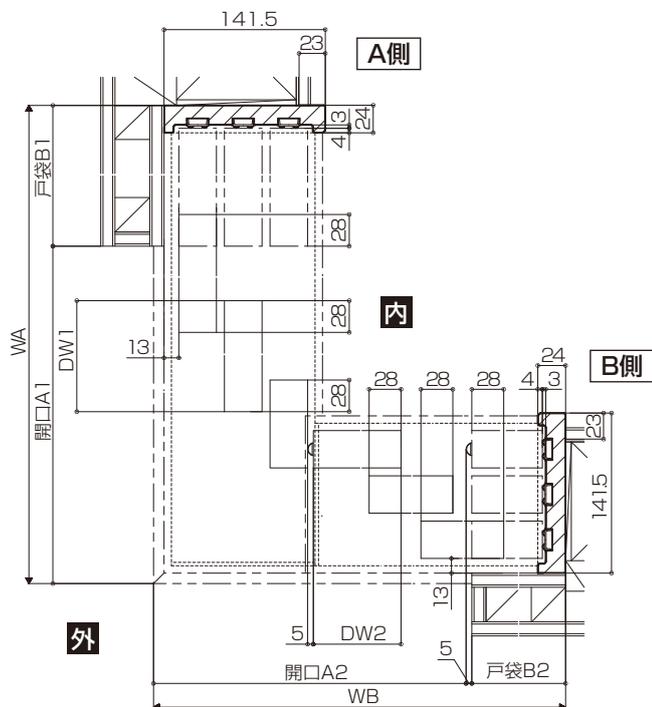
※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW816)を使用した場合の寸法です。

■可動間仕切り引戸上吊方式コーナータイプ 3×3枚

●縦断面図



●横断面図



部材名称	3枚側	
	形材番号	枠幅寸法
縦枠	7668	141.5
鴨居	7849	139
幕板	7570	48
フラット下レール	7486	131

W呼称	枠外寸法(mm)		戸袋寸法(mm)	
	WA寸法	WB寸法	B1寸法	B2寸法
3×3枚	3302	3340	836	836

算出式 3×3枚：
 $DW1 = (WA - 38) / 4$
 $DW2 = (WB - 76) / 4$
 $A1 = WA - B1$
 $A2 = WB - B2 - 5$
 $B1 = DW + 20$
 $B2 = DW + 20$

※本表は、可動間仕切りユニット引戸上吊方式の規格サイズ本体(DW816)を使用した場合の寸法です。

MEMO
